

卒業式を行いました！

アンジャラ・アキさんの「手紙」
という曲を手話付で歌って
卒業生を送りました！！

令和6年3月19日

（函館聾学校の玄関前で記念撮影）

今年度の卒業証書授与式は、卒業生が幼稚部1名、小学部2名、中学部2名、計5名のものとなりました。コロナ禍が開けてはじめての卒業式です。来賓として、PTA代表様、同窓会長様、地域の町会長様（深堀町会、駒場町会、東深堀町会）をはじめ、本校の学校運営協議会の委員長で NPO サポートはこだて事務局長様に来ていただき、卒業生の晴れの門出に立ち会っていただけたことも大変嬉しいことでした。ありがとうございました。



式は、一人一人の「卒業証書授与」と「式辞」、「卒業生のことば」をメインに構成したものとなりました。「卒業生のことば」からは、幼稚部修了生の成長ぶり、小学部卒業生の転機になった本校への転入と自身の成長が感じられました。そして、中学部卒業生のことばは、自らの成長を振り返り、本校教職員や後輩、そして保護者への感謝が述べられ、巣立ちゆく心境がよく分かる内容で、参加者の涙を誘っていました。

私は、これまで別の場面でも使用してきたことばを使い、式辞の中で中学部卒業生に対して次のように伝えました。

進学先では、「心の眼（まなこ）」をひらいて見て、判断し、行動するようになしてください。そうすれば、きっと、正しい道が見えてくるはずですよ。そして、早く自分の目標を見つけてください。目標を見つけたら、まっすぐ前へ進むだけ「Go Straight！」です。それまでは、学ぶことに垣根を作らず何でも吸収してほしいと思います。

「中学部を卒業したお二人さん！伝わりましたか？」

私たち函館聾学校の教職員は、いつまでもみなさんの応援団です。いつでも今頑張っている様子を伝えに帰ってきてください。悩むことがあれば相談しに来ていいです。そして、後輩達にあなた方が歩んでいる後ろ姿を見せてほしいと思います。

さて、本校では、毎年全校幼児児童生徒による作文集「ともえっこ」というものを作成しています。私は、この「ともえっこ」という作文集がとても好きです。そして、とても価値あるものだと思います。なぜかという、この作文集は、子どもたちが、本校での教育活動や家庭生活における社会体験等の中から生まれた「子どもたち目線の子どもたちのことばによる作文集」だからです。そして、毎年継続されていることで、本校の子どもたちの貴重な記録にもなっています。この「ともえっこ」は、本校の図書室に歴代のものと一緒に保管されています。是非、御来校されたときには、図書室にお立ち寄りいただき、作文や写真を見て本校の子どもたちと先生方の生き生きとした姿を垣間見ていただけると嬉しいです。